

商業高校生のコミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成「ランゲージカフェ」

岡山県立津山商業高等学校 ランゲージカフェ

活動の目的

「ランゲージカフェ」において、積極的に地域の外国人や異世代の方と交流し、コミュニケーション力・プレゼンテーション力や国際感覚を身に付けさせる。異世代間交流や多様な職種の人々との「異文化」交流、表現力向上のためのワークショップ実施で、「英語を使う機会の提供」だけに終わらない、真のコミュニケーション能力育成の場とする。

活動の内容及び経過

「A 地域の方と交流し、地元の魅力を知る！」

岡山大学留学生津山観光案内の事前学習として、「津山観光ボランティアガイドの会」の方々に、鶴山公園（津山城）、城西地区を案内していただいた。

春と秋、本校に隣接する衆楽園の魅力発信のため、入口で来園者に声を掛けてボランティアガイドを実施した。生徒は、郷土伝統的工芸品「作州餅」を「作州餅保存会」の方々に着付けていただき、来園者に魅力を紹介した。

「B 外国人と交流し、異文化を知る！」

12月、岡山大学の留学生20名を迎え津山の観光案内を行った。ツアー企画、参加者募集チラシの作成、メールでのやりとり、当日の運営を行った。事前学習として県国際交流員の国際理解講座を実施した。

「C コミュニケーション能力を鍛える！」

7月、演出家の林成彦氏による演劇の手法を使ったワークショップを行った。対話を通して相手に合わせたり相手に向き合ったりするというテーマに、ゲームやグループに分かれて「架空のアパート住民会議」をした。お互いに協調しながら対話をする体験や価値観と価値観がぶつかりながらも向き合う体験をした。

活動の成果・効果

【国際理解講座感想】日本人目線ではなく、相手の文化や考え方を中心に観光ガイドをすることが大切だということが分かった。(2年女子)

【岡山大学留学生観光案内感想】津山の新たな魅力を発見できた。たくさん話すことで英語が使えるようになった。異文化についてもっと勉強し、将来の仕事に役立てたい。(1年女子) ずっと英語が苦手で逃げていたけれど、改めて必要性が分かったので英語の授業を大切にしていきたい。(2年女子) とにかくトライすることが大切だと思った。これからもこの活動を続けてほしい。(3年女子)

【演劇的ワークショップ感想】相手と場面を想像して会話をすることで、話を広げる力がついたり、コミュニケーションする楽しさを学べたりした。(2年女子) 住人会議はなか



なか解決しない話し合いにイライラしつつも、どうすれば皆が納得する答えが導き出せるのかを考えることができた。(2年女子)

今後の課題と問題点

活動人数を増やすことは、今年度も引き続きの課題となった。校内外へのPRをするものの、放課後は部活動や進路指導等があり定期的な参加が難しい。今年度他校の生徒の参加はなかった。継続的な活動にするため実行委員会の役割を英語部が担ったが主体的な活動がうまくできなかった。

- 代表者：横野滋子 ●所在地：津山市山北
- TEL：0868-22-2421 ●E-MAIL：tusho@pref.okayama.jp
- URL：http://www.tusho.okayama-c.ed.jp/
- 設立年：2014年 ●メンバー数：474名